

富山県建設工事検査技術基準

検 第 3 号
平成 13 年 3 月 15 日
出納事務局長通知

（目的）

第 1 条 この基準は、富山県が発注する建設工事の検査に必要な技術的事項を定めることにより、適切で的確な検査の実施を図ることを目的とする。

（検査の内容）

第 2 条 検査は、当該工事を対象として、契約図書に基づき、実地において行うものとし、別表 1（建築・設備工事においては別表 1－2 を含む）に掲げる検査確認票の確認項目について行うものとする。

（工事実施状況の検査）

第 3 条 工事実施状況の検査は、契約書等の履行状況、工程管理、安全管理及び工事施工状況等の工事管理状況に関する各種の記録（写真・ビデオによる記録を含む。以下「各種の記録」という。）と、契約図書とを対比し、別表 2 に掲げる事項に留意して行うものとする。

（出来形の検査）

第 4 条 出来形の検査は、位置、出来形寸法及び出来形管理に関する各種の記録と設計図書とを対比し、別表 3 に基づき行うものとする。ただし、外部からの観察、出来形図、写真等により当該出来形の適否を判定することが困難な場合は、検査員は契約書の定めるところより、必要に応じて破壊して検査を行うものとする。

（品質の検査）

第 5 条 品質の検査は、品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書とを対比し、別表 4 に基づき行うものとする。ただし、外部からの観察、品質管理の状況を示す資料、写真等により当該品質の適否を判定することが困難な場合は、検査員は契約書の定めるところにより、必要に応じて破壊して検査を行うものとする。

（出来ばえの検査）

第 6 条 出来ばえの検査は、仕上げ面、とおり、おさまり、すり付けなどの程度及び全般的な外観について、目視、観察により行うものとする。

（出来形及び品質の合格値）

第 7 条 出来形及び品質検査の合格値は、設計図書に定める規格値のほか、土木工事については、別に定める「農林水産部土木工事施工管理基準」又は「土木部土木工事施工管理基準」に掲げる規格値をすべて満足するものとする。ただし、既設構造物又は関連する他の工種により制約を受けるものと認められる場合はこの限りではない。

附 則

(施行期日)

- 1 この技術基準は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 10 年 3 月 30 日付け 検第 10 号（出納事務局長通知）富山県農林水産部土木
工事検査技術基準（平成 10 年 4 月 1 日施行）は、廃止する。
- 3 平成 10 年 3 月 24 日付け 検第 8 号（出納事務局長通知）富山県土木部土木工事検
査技術基準（平成 10 年 4 月 1 日施行）は、廃止する。
- 4 平成 11 年 3 月 31 日付け 検第 9 号（出納事務局長通知）富山県土木部建築・設備
工事検査技術基準（平成 11 年 4 月 1 日施行）は、廃止する。

附 則

この技術基準は、平成 14 年 11 月 8 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この技術基準は、平成 27 年 4 月 1 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

附 則

この技術基準は、平成 29 年 4 月 1 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

附 則

この技術基準は、平成 30 年 7 月 9 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

附 則

この技術基準は、令和 2 年 4 月 1 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

附 則

この技術基準は、令和 6 年 4 月 1 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

附 則

この技術基準は、令和 6 年 10 月 1 日から施行し、同日以降に契約を締結した工事に
適用する。

完 成 ・ 出 来 形 ・ 中 間 検 査 確 認 表

工事番号		検 査 日		検査員氏名					
確 認 事 項				確 認 状 況					
項目	中項目	細 目	内 容		適	不適	指導	摘 要	
施 工 体 制	Ⅰ 施工体制一般	評項 09〃 施ﾌﾞ 13	施工体制台帳、施工体系図が整備されている。(施工体制台帳等(写し)提出書の内容)						
		評項 13〃 施ﾌﾞ 09	建設業退職金共済証紙の配布が受け払い簿等により適切に管理されている。						
	関係チェックリスト		作業分担と責任の範囲が施工体制台帳・施工体系図等で確認できる。						
		01, 02, 06, 07, 施ﾌﾞ 16	下請けの施工体制、施行状況を把握し、部下等とともによく指導している。						
		08, *09, *10, 11, 施ﾌﾞ 17	建設業許可票の標識が公衆の見やすい場所に掲示されている。						
		12, *13, 14, 15, 重点確認項目	CD-R等(1 組* 1枚)						
		16, 17	電子納品取組 ①発注図 ②打合せ簿 ③施工計画書 ④完成図 ⑤写真 ⑥その他						
	Ⅱ 配置技術者	現場代理人	施ﾌﾞ 18	現場代理人として常駐し、工事全体を把握している。					
		主任(監理)技術者の専任	施ﾌﾞ 27	工事に係る技術的事項を把握し、主体的に関わっていた。					
		専門技術者	施ﾌﾞ 20	専門技術者を配置している。					
		重点確認項目	監理技術者資格者証、講習有効期限						
			下請業者の主任技術者(専任 ・非専任)						
			作業主任者の選任(各資格者の配置)・掲示						
施 工 状 況	Ⅰ 施工状況	評項 01〃 施ﾌﾞ 31	契約書第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行っている。						
		関係チェックリスト 評項 02〃 施ﾌﾞ 33 36	施工計画書が着手前に提出され、所定項目が記載されているとともに、設計図書内容及び現場条件を反映している。						
		*31, 32, *33, *34, 施ﾌﾞ 35	工事期間を通じて施工計画書と現場の施工体制等が一致している。						
		*35, *36, *37, *38, 評項 03〃 施ﾌﾞ 34	工事期間を通じて施工計画書と現場施工方法が一致している。						
		39, 40, *41, 42, 評項 04〃 施ﾌﾞ 33	計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。						
		43, *45, *46, 47 評項 05〃 施ﾌﾞ 37	工事材料の資料の整理及び確認がされ、品質に影響が無いよう管理している。						
		評項 06〃 施ﾌﾞ 38	品質確保のための対策など、施工に関する独自の工夫がみられる。						
		評項 07〃 施ﾌﾞ 41	中間検査及び段階確認の手続きが事前になされている。						
		評項 08〃 施ﾌﾞ 45 46	建設副産物の再利用への取り組みを行っている。						
		評項 11〃	工事関係書類を不足なく簡潔に整備している。(工事写真・出来形管理・品質管理)						
			工事写真:撮影項目、時期、頻度が適切であり、不可視部分が的確に判断できる。						
			出来形管理:設計図書及び施工計画等に基づき適切に行われている。						
		品質管理:設計図書及び施工計画等に基づき適切に行われている。							
	評項 12〃	社内の管理基準等が作成され管理されている。							
	重点確認項目	産廃委託契約書(運搬・処分・マニフェスト)							
	Ⅱ 工程管理	施ﾌﾞ 48	フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。(品質管理)						
		関係チェックリスト 施ﾌﾞ 49	現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。						
		#48, 49, #50 重点確認項目	実施工程表						
		施ﾌﾞ 50	現場の休日の確保及び週休2日を達成した記録が整理されている。						
	Ⅲ 安全活動	施ﾌﾞ 53	安全教育・訓練等を4時間/月以上適時、的確に実施した記録が整備されている。						
関係チェックリスト 施ﾌﾞ 55		新規入場者教育を実施し記録が整備されている。							
*51, 52, 53, #54, 施ﾌﾞ 56		過積載防止に積極的に取り組んでいる。							
55, 56, 57, 58, 施ﾌﾞ 61		保安施設等の整理・設置・管理が的確で記録が整備されている。							
59, 60, #61, 62 重点確認項目		安全パトロール、安全ミーティング(KYK)等の実施内容と現場への反映							
Ⅳ 対外関係等	施ﾌﾞ 63	関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。							
	関係チェックリスト 施ﾌﾞ 65	隣接工事又は施工上関連する工事の請負者と相互に協力を行っている記録がある。							
	63, #64, #65 重点確認項目	地元住民等との施工上必要な交渉、施工に関する苦情対応を適切に行い、記録がある。							
創意工夫等	工事特性・創意工夫	工事特性(構造物の特殊性、都市部等の作業環境、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保、その他)							
		創意工夫(施工、品質、安全衛生、施工管理、新技術活用、その他)							
社会性等	地域の貢献等	周辺環境への配慮、現場環境の地域への調和、地域に密着した清掃活動等、災害時における地域への援助・救済活動の実施等							
法令遵守等	事故・契約・法令違反等	労災・第三者への損害事故等、一括下請の判明等、建設業法・リサイクル法・産廃法等							
総合評価方式等	評価内容等	技術提案に記載された事項の履行確認及び措置状況等							
検査等の状況	下請検査 評項 10〃	下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施している。							
		検査回数(回)							
	社内検査	検査回数(回)							

注: 1) 施工プロセスチェックリスト欄の#付き番号は、第二次評定者の採点項目であり、* 付き番号は第三次評定者の採点項目である。
2) 重点確認項目欄は、工事内容の特色等により、検査員が独自に判断した確認内容を記載できるものとする。

別表2

工事実施状況の検査留意事項

(全工事共通)

項 目	関 係 書 類	検 査 留 意 事 項	備 考
1 契約書等の履行状況	請負契約（変更）書 共通（標準）仕様書 特別（特記）仕様書 設計図書（図面）等	- 仕様書の内容が良く把握されているか。 - 指示、承諾、協議事項等の処理状況は良好か。 - 支給材料・貸与品及び工事発生品の処理状況は良好か。	共通（農林・土木） 標準（建築・設備） 特別（農林） 特記（土木・建築・設備）
2 施工体制	工事工程表 現場代理人等（変更）届 下請負 施工体制台帳 工事カルテの登録等	- 工事工程表、現場代理人等届の提出時期、内容は適切であるか。 - 工事工程表どおり工事着手したか。 - 品質・安全確保の姿勢、社内体制、損害保険等の加入が適切に行われているか。 - 下請負なしで適正な内部施工体制ができているか。 - 施工体制台帳等（写し）の提出状況、施工体制台帳、施工体系図が適切であるか。また、下請負契約書、下請主任技術者の配置、資格が明確になっていたか。 - 退職金制度届出書が提出されているか。 - 工事カルテが登録されているか。 - 現場詰所、休憩所、便所、（宿舍）等の設備がなされ、また、法定労働時間の厳守がなされていたか。	共通（農林・土木） 契約後 7日以内 （約款 10 条） 工程表と同時提出 施工体制台帳等（写し）及び再下請負通知書の写しは下請契約後 7日以内に提出 （約款 7 条） 契約後 1 ヶ月以内に提出 （共仕 1-1-1-45） 500 万円以上契約後 10 日以内に登録 （共仕 1-1-1-6）
現場代理人	社員証 等	- 常駐していたか。社員証を携帯しているか。 - 営業所専任技術者と兼務していないか - 設計内容の理解度、監督員との連絡がされていたか。 - 現場運営が適切であったか。 - 安全管理指導が適切であったか。	常駐（約款 10 条）
主任（監理）技術者	社員資格証 等	- 規模に応じた技術者の配置がされているか。また、社員証、資格証を携帯しているか。 - 営業所専任技術者と兼務していないか - 設計図書の照査、現場状況の把握が適切にされているか。 - 技術判断が十分であったか。 - 段階確認、中間検査を適時適切に段取り実施したか。	4,000 万円（建築 1 式工事の場合は 8,000 万円） 以上は専任（建設業法 26 条 3 項） 下請負額 4,500 万円（建築 1 式工事の場合は 7,000 万円） 以上は監理技術者（建設業法 26 条 2 項）

項 目	関 係 書 類	検 査 留 意 事 項	備 考
3 施工状況	施工計画書 工事打合簿 工事日誌 出来形管理図 工事写真 等	・ 施工計画書、施工（承認）図の内容が適切に行われていたか。 ・ 出来形管理、工事写真が適正に整理されているか。 ・ 材料及び施工中の試験、検査記録等の品質管理が適正に行われていたか。 ・ 工事日誌、打合せ記録、協議記録が書面で整理されているか。 ・ 工事現場のイメージアップの工夫がされているか。 ・ 工事の後片付けが良好にされているか。	
4 工程管理	実施工程表 休日等取得実績書 等	・ 工程表による適正な管理が行われていたか。 ・ 現場の休日の確保が適切に行われていたか。	遅れた場合の対策 （約款第 11 条）
5 安全対策	安全日誌 等	・ 現場への立入り制限、安全標識、保安施設が良好に行われていたか。 ・ 安全巡視、パトロールが十分に行われていたか。 ・ 新規入場者教育、KYK等の安全教育が十分に行われていたか。 ・ 保護具の装着が守られていたか。 ・ 道路交通法、労働安全衛生法等を遵守していたか。 ・ 車両・機械類の点検が行われていたか。	写真 安全日誌 責任者の選任 月毎に半日以上
6 対外関係等	マニフェスト集計表等	・ 関連工事との連絡調整、地元関係者との調整が良好になされていたか。 ・ 騒音、振動、大気汚染、水質の汚濁等周辺環境の保全に十分配慮されていたか。 ・ 建設副産物の分別、保管が良好に行われているか。 ・ 産業廃棄物の運搬、処分の委託契約、マニフェストが整理し管理されているか。 ・ 工事に適用される法律上の手続き（警察、県、市町村等が適切に行われていたか。	書類提出
7 事故・違反等の有無		・ 労災事故や第三者に損害を与えた事故等は無かったか。 ・ 契約違反等は無かったか。 ・ 建設業法、産廃法、労働基準法、道路交通法等の法律違反は無かったか。	一括下請負 義務履行違反等 過積載 （約款 1 条 1 項）

別表3 出来形検査基準

(農林工事)

工 種		内 容	検 査 密 度
1 共 通 工 事	1. 掘 削	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	2. 盛 土	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	3. 石 積 み コンクリート ブロック積 石張工 コンクリート ブロック張 (河川護岸 は除く)	基 準 高	基準高、法長、施工延長等は、100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。 控長・厚さは、工事写真・出来形管理図で確認できない場合は、抜石(ブロック)により1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、1,000㎡以下は2カ所測定する。 なお、抜石(ブロック)検査の箇所の選定にあたっては、かたよることなく全体が把握できるよう適切に選定する。
		厚 さ	
		法 長	
		施 工 延 長	
		凹 凸	
	4. 張ブロック	基 準 高	基準高、幅、施工延長等は、200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、200m以下は2カ所測定する。 控長・厚さは、工事写真・出来形管理図で確認できない場合は、抜石(ブロック)により1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし1,000㎡以下は2カ所測定する。 抜石(ブロック)検査の箇所の選定にあたっては、かたよることなく全体が把握できるよう適切に選定する。
		幅	
		厚 さ	
		施 工 延 長	
	5. 基礎杭打工 木杭、鋼管杭 深礎杭 既製コンクリート杭 場所打ち杭	基 準 高	施工本数5本につき1本以上測定する。
		偏 心	
	6. 矢板打工 (矢板護岸 を含む)	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		中心線のズレ	
		施 工 延 長	

工 種		内 容	検 査 密 度
1 共 通 工 事	7. オープン ケーソン	基 準 高	1 基毎に 1 カ所以上測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		長 さ	
		偏 位	
	8. コンクリート吹付工 モルタル吹付工	吹 付 厚 さ	施工面積3,000㎡につき 1 カ所以上測定する。 ただし、施工面積3,000㎡以下は 2 カ所測定する。 (施工端部、岩等の突出部の特殊な場合は適用しない。)
	9. 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート	基 準 高	施工延長500mにつき 1 カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は 2 カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		施 工 延 長	
	10. コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎 コンクリート側溝 コンクリート管渠 横断構造物 コンクリート擁壁 その他上記に準ずるもの	基 準 高	施工延長200mにつき 1 カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は 2 カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		施 工 延 長 (又は長さ)	
	11. 精度を要するもの 分水工計量部 ゲート戸当部 橋台沓部	基 準 高	1 基毎に 1 カ所以上測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		長 さ	
	12. U 字 溝 U字リム ベンチリム	基 準 高	施工延長500mにつき 1 カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は 2 カ所測定する。
		中心線のズレ	
		施 工 延 長	
	13. 土水路	基 準 高	施工延長500mにつき 1 カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は 2 カ所測定する。
		幅	
		高 さ	
		施 工 延 長	
	14. アンカー工	削 孔 長	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。
		削 孔 位 置	
		削 孔 方 向	

工 種		内 容	検 査 密 度
1 共通工事	15. 鉄筋挿入工	削 孔 長	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。
		削 孔 位 置	
		削 孔 方 向	
	16. 鉄筋組立	か ぶ り	段階確認及び中間検査結果の資料等により検査する。
		平 均 間 隔	
2 ほ場整備工事	1. 表土扱い	厚 さ	3haに1筆 2点以上
	2. 基盤造成 表土整地	基 準 高	3haに1筆 8～12点
		均 平 度	
		面 積	
	3. 畦畔復旧	幅	施工延長2,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長2,000m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
	4. 道 路 工 (砂利道)	基 準 高	幹線道路については、施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。 支線道路については、施工延長2,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長2,000m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		施 工 延 長	
3 農用地造成工事	1. 耕起深耕	耕 起 深	1ha当たり1カ所の割合で測定する。
	2. テラス (階段畑)	幅	施工延長1,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長1,000m以下は2カ所測定する。
		耕 起 幅	
		側 溝 幅	
		側 溝 高 さ	
		法 勾 配	
	3. 道 路 工 (耕作道)	幅	施工延長1,000mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長1,000m以下は2カ所測定する。
		厚 さ	
		側 溝 幅	
		側 溝 高 さ	
	4. 土壌改良	P H 測 定	10haにつき1カ所の割合で測定する。
	5. 改良山成	基 準 高	1haにつき1カ所以上測定する。
		法 勾 配	施工面積1,000㎡につき1カ所の割合で測定する。
4 農道工事	1. 路 床 工	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		中心線のズレ	
		施 工 延 長	
	2. 路 床 安定処理工	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		施 工 延 長	

工 種		内 容		検 査 密 度		
4 農 道 工 事	3. 路 盤 工	基 準 高		施工延長200mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2ヵ所測定する。		
		幅				
		厚 さ				
		中心線のズレ				
		施 工 延 長				
	4. コンクリート舗装工 アスファルト舗装工	厚 さ		施工面積3,000㎡につき1ヵ所以上コアーにより測定する。 ただし、3,000㎡以下は2ヵ所測定する。 簡易舗装の場合は、3,000㎡を1,000㎡に読替える。		
		幅			施工延長200mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2ヵ所測定する。	
		中心線のズレ				
		施 工 延 長				
		平 坦 性				
		5. 砂利舗装工	幅		施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。	
			厚 さ			
	施 工 延 長					
	6. 道路トンネル	支保工	間 隔	施工延長100mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2ヵ所測定する。		
			幅			
		コンクリート覆工	基 準 高			
			幅			
			巻 厚			
			高 さ			
			中心線のズレ			
			施 工 延 長			
			7. 道路トンネル (NATM)		支保工	間 隔
		幅				
	吹付コンクリート厚					
ロックボルト	位置間隔					
	角 度					
	深 さ					
	孔 径					
コンクリート覆工	基 準 高					
	幅					
	巻 厚					
	高 さ					
	中心線のズレ					
	施 工 延 長					

工 種		内 容		検 査 密 度
5	水路トンネル	支保工	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			間 隔	
		コンクリート覆工	基 準 高	
			幅	
			巻 厚	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			施工延長	
6	水路トンネル工事	1. 現場打開水路	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			スパン長	
			施 工 延 長	
		2. 現場打サイホン	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			スパン長	
			施 工 延 長	
		3. 現場打暗渠	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			スパン長	
			施 工 延 長	
		4. コンクリート二次製品水路 (鉄筋コンクリート大型リューム) (鉄筋コンクリートL型水路)	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			中心線のズレ	
			施 工 延 長	
	5. ボックスカルバート水路	5. ボックスカルバート水路	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			中心線のズレ	
			施 工 延 長	

工 種		内 容	検 査 密 度
7 河川及び排水路工事	1. コンクリート法覆工 アスファルト法覆工	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		厚 さ	
		法 長	
		施 工 延 長	
	2. コンクリートブロック積み水路 鉄筋コンクリート柵渠	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
		高 さ	
		中心線のズレ	
		施 工 延 長	
	3. ライニング水路 連節ブロックコンクリートマット	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
		法 長	
		施 工 延 長	
	4. 護岸工 (コンクリート張工) (アスファルト張工) (コンクリート張枠工)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		法 長	
		厚 さ	
		施 工 延 長	
	5. 護岸工 (コンクリートブロック張工)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
		法 長	
		施 工 延 長	
8 管水路工事	1. 管体基礎工 (砂基礎等)	幅	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
	2. 管水路 (遠心力鉄筋コンクリート管) R C 管 P C 管	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		中心線のズレ	
		ジョイント間隔	
		施 工 延 長	
	3. 管水路 (ダクタイル鋳鉄管) (強化プラスチック複合管)	基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
		中心線のズレ	
		ジョイント間隔	
		施 工 延 長	

工 種		内 容		検 査 密 度
8 管 水 路 工 事	4. 管 水 路 (硬質塩化 ビニル管)	基 準 高		施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。
		埋 設 深		
		中心線のズレ		
		施 工 延 長		
	5. 管 水 路 (鋼 管)	支 保 工	基 準 高	施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。 溶接・塗装は、9. 溶接 10. 塗装による (管種等の適用範囲は、仕様書等による。)
			中心線のズレ	
			施 工 延 長	
	6. 管 水 路 (埋 設 とう性管)	た わ み 率	締固めなし	施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。 (管種等の適用範囲は、仕様書等による。)
			締固めⅠ	
			締固めⅠ 礫質土	
			締固めⅡ	
	7. シールド工 事(一次覆工) コンクリートセグメント 鋼製セグメント	基 準 高		施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。
		中心線のズレ		
		施 工 延 長		
たわみ率				
8. シールド工 事(二次覆工) 既製管覆工 推進工事	基 準 高		施工延長500mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2ヵ所測定する。	
	中心線のズレ			
	ジョイント間隔			
	施 工 延 長			
	たわみ率			
9. 溶 接		施設機械等の検査の手引きによる。		
10. 塗 装	膜 厚		施工面積50㎡につき1ヵ所(0.5～1.0㎡)を10点 測定する。	
	色 調		適宜決定して検査する。	
	外 観			
9 畑地かんがい施設工事	1. スプリン クラー	埋 設 深		1haにつき2ヵ所以上測定する ただし、1ha以下は2ヵ所測定する。

工 種		内 容	検 査 密 度
10 橋 梁 工 事	1. コンクリート桁 (ポストテンション桁)	幅	施工本数10本につき1本以上測定する。 ただし、施工本数10本以下は2本測定する。
		高 さ	
		桁 長	
		横方向の最大曲がり	
	2. 鉄筋コンクリート床版工	基 準 高	施工数5径間につき1ヵ所以上測定する。 ただし、5径間以下は1ヵ所以上測定する。
		幅	
		厚 さ	厚さは施工面積100㎡につき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工面積100㎡以下は2ヵ所測定する。
	3. 鉄筋コンクリート高欄及び地覆工	高 欄 幅	施工数5径間につき1ヵ所以上測定する。 ただし、5径間以下は2ヵ所測定する。
		高 欄 高 さ	
		地 覆 幅	
		地 覆 高 さ	
11 橋 梁 下 部 工 事	1. 橋台工	敷 幅	1基につき1ヵ所以上測定する。
		擁壁の厚さ	
		高 さ	
		中心線のズレ	
		天 端 長	
		敷 長	
		胸壁間距離	
		橋 台 沓 部	「1-1」精度を要するもの」による
	2. 橋脚工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基 準 高	施工基数5基につき1基以上測定する。 ただし、施工基数5基未満は1基測定する。
		天 端 長	
		敷 長	
		天 端 幅	
		敷 幅	
		高 さ	
		橋脚中心間の距離	
		中心線のズレ	
	3. 橋脚工 (ラーメン式)	基 準 高	施工基数5基につき1基以上測定する。 ただし、施工基数5基未満は1基測定する。
		天 端 長	
		天 端 幅	
		中 間 幅	
		基 礎 幅	
		高 さ	
		厚 さ	
		橋脚中心間の距離	
		中心線のズレ	

工 種		内 容	検 査 密 度
12 法 面 保 護 工 事	1. ラス張 植生マット 植生シート 繊維ネット 張 芝 人工張芝 むしろ張工	面 積	施工面積の10%以上測定する。
		アンカーピン数 アンカーピン及び止め釘	施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面積1,000㎡以下は2カ所測定する。
		網の重ね合わせ幅	
	2. 植生等の 工 種 (伏工、 吹付工類)	法 長	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。
		延 長	
		厚 さ	または 施工面積の10%以上測定する。
		植 被 率	施工面積2,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、2,000㎡以下は2カ所測定する。
	3. 法 枠 工	法 長	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。
		幅	
		高 さ	または 施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、1,000㎡以下は2カ所測定する。
		吹付枠中心間隔	
		延 長	
	4. 特殊配合 モルタル 吹付工	面 積	施工面積の10%以上測定する。
		吹 付 量	施工面積1,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、1,000㎡以下は2カ所測定する。
		アンカーピン数	
		網の重ね合わせ幅	
		植 被 率	施工面積2,000㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、2,000㎡以下は2カ所測定する。
13 暗 渠 排 水 工 事	1. 吸 水 渠	布 設 深	3haに1筆1本以上（1筆内10本以上は10本につき1本）の割合で上下流端の2カ所を測定する。 ただし、1本の施工延長が100m以上のときは、中間点を加えた3カ所とする。 なお、施工面積3ha以下は2筆測定する。 被覆材は測定箇所において、被覆材断面（高さ、天端幅）を測定する。
		間 隔	
		施 工 延 長	
		被 覆 材	
	2. 集 水 渠 (支線) 導 水 渠 (幹線)	布 設 深	吸水渠の検査耕区に係る集水渠であって、施工に係る始点から終点までの2カ所以上測定する。
		施 工 延 長	
14 フ ィ ル ダ ム 工 事	1. 監 査 廊 (暗渠タイプ)	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		幅	
		厚 さ	
		高 さ	
		中心線のズレ	
		スパン長	
		施 工 延 長	

工 種		内 容		検 査 密 度
14 フィルダム工事	2. 堤体盛土	ソ ー ン 幅	遮 水 ソ ー ツ	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			フィルターソ ー ツ	
			トラソツツ ョソツソ ー ツ	
			ロ ッ ク ソ ー ツ	
	3. 洪水吐		基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 だし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			厚 さ	
			幅	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			スパン長	
			施 工 延 長	
15 頭首 工事	1. 本 体		基 準 高	1基毎に測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			長 さ	
	2. 護床ブロッ ク (異形ブロッ ク)		基 準 高	施工面積500㎡につき1カ所以上測定する。 ただし、施工面接500㎡以下は2カ所測定する。
			面 積	
16 海岸 河川 工事	1. 捨石工 消波ブロッ		基 準 高	施工延長500mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長500m以下は2カ所測定する。
			幅	
17 た め 池 改 修 工 事	1. 堤体工		基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			堤 幅	
			法 長	
			施 工 延 長	
	2. 洪水吐工		基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 だし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			スパン長	
			施 工 延 長	
	3. 樋管工 同上付帯構造 物(土砂吐ゲ ート等)		基 準 高	施工延長200mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2カ所測定する。
			幅	
			厚 さ	
			高 さ	
			中心線のズレ	
			施 工 延 長	

工 種		内 容	検 査 密 度
18 客 土 工 事	1. 客 土 工	現 況 高	1 haにつき2カ所以上測定する。 ただし、1 ha以下は2カ所測定する。
		搬 入 台 数	
		耕土補給厚さ	
		均 し 度	
19 治 山 工 事	1. コンク リートダム (本ダム、副ダ ム、側壁、水叩 き)	基 準 高	1 基毎に2カ所以上測定する。
		高 さ	
		幅 (厚さ)	
		法 勾 配	
		堤 長	
	2. その他 コンクリート 構造物 (擁壁工) 土留工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
		幅 (厚さ)	
		法 勾 配	
		長 さ	
	3. 階段切付工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		階 段 幅	
		法 勾 配	
		法 長	
		施 工 延 長	
	4. 暗 渠 工	基 準 高	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		高 さ	
		幅	
		施 工 延 長	
	5. 植生等の工 種 (土のう、芝 筋工類)	幅	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		長 さ	
	6. 柵 工 (編柵類、丸太 筋工)	長 さ	施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。

工 種		内 容		検 査 密 度
19 治 山 工 事	7. 鋼製柵工 (なだれ、落石)	基 準 高		全基数の10%以上測定する。 ただし、10基以下は2基測定する。 基礎が連続する場合には、施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。
		長 さ		
		高 さ		
		基礎 コン クリ ート	基 準 高	
			高 さ	
			幅 (厚さ)	
			施工延長	
	8. アンカー付 吊 柵	基 準 高		全基数の10%以上測定する。 ただし、10基以下は2基測定する。
		アンカーと ロープの内角度		
		柵とアンカーの なす角度		
		列・柵間隔		
	9. 木 製 構造物工	高 さ		全基数の10%以上測定する。 ただし、10基以下は2基測定する。
		長 さ		
幅 (厚さ)				
法 勾 配				
10. グライド 防止工	水 平 間 隔		全基数の10%以上測定する。 ただし、10基以下は2基測定する。	
	斜 長 間 隔			
	三角枠の角度			
11. 鋼製ダム (スリットタイプ)	基 準 高		1 基毎に2カ所以上測定する。	
	堤 長			
	堤 幅			
	高 さ			
12. 鋼製構造 物 (鋼製ダム スリットタイプ を除く)	基 準 高		1 基毎に2カ所以上測定する。	
	幅 (厚さ)			
	長 さ			
	法 勾 配			
	高 さ			
13. 山腹水路 工	基 準 高		施工延長100mにつき1カ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2カ所測定する。 (鋼製又は合成樹脂製の場合は、幅・高さを追加測定する。)	
	延 長			

工 種		内 容		検 査 密 度
19 治 山 工 事	14. 鉄線籠等 構造物 (フトン籠、 蛇籠類)	基 準 高		施工延長100mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長100m以下は2ヵ所測定する。 または、全基数の10%以上測定する。
		高 さ		
		幅 (厚さ)		
		倒 れ		
		間 隔		
		施 工 延 長		
	15. 森林整備	地 拵 え	施 工 面 積	施工面積0.5haにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工面積0.5h以下は2ヵ所測定する。 (面積管理図より抽出した任意の測点間距離、 勾配及び方位を計測する。)
			筋 置 幅	
		植 栽	植 栽 間 隔	施工面積0.5haにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工面積0.5ha以下は2ヵ所測定する。 (1ヵ所につき、縦横、苗木5～10本分をまとめた 長さを測定し、その平均値を植栽間隔とする。)
			本 数	
			施 工 面 積	地拵えに同じ
		施 肥	本 数	施工面積2haにつき17°㎡以上測定する。 ただし、施工面積2ha以下は27°㎡測定する。 (100㎡7°㎡)
		雪 起 し	本 数	施工面積2haにつき17°㎡以上測定する。 ただし、施工面積2ha以下は27°㎡測定する。 (100㎡7°㎡)
			施 工 面 積	
		本 数 調 整 伐 ・ 除 伐	施 工 面 積	雪起しに同じ
			本 数 (伐 採 率)	施工面積2haにつき17°㎡以上測定する。 ただし、施工面積2ha以下は27°㎡測定する。 17°㎡=10m×20m=200㎡(200㎡7°㎡) 地形条件より、円形7°㎡(r=7.99m)も可とする。
		下 刈 り	施 工 面 積	雪起しに同じ

工 種		内 容		検 査 密 度
19 治 山 工 事	15. 森林整備	枝 落 し	本 数	雪起しに同じ
			施 工 面 積	
			高 さ	
		根 踏 、 割 竹 設 置	本 数	雪起しに同じ
			施 工 面 積	
		客 土	本 数	雪起しに同じ
			施 工 面 積	
		つ る 切	施 工 面 積	雪起しに同じ
		歩 道 新 設 ・ 補 修 、 刈 払 い	施 工 延 長	施工延長200mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2ヵ所測定する。 (従たる工事の場合、延長20m未満の施工は、 延長測定1ヵ所または断面測定1ヵ所に省略 することができる。)
			断 面	
20 林 道 工 事	1. 林 道	I Pの位置		施工延長200mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2ヵ所測定する。 構造物については、次のとおり適用する。 ① コンクリート擁壁、コンクリート側溝、コンクリート基礎、 横断溝等 ⇒1 共通工事の10 ② ブロック積(張)・石積(張) ⇒1 共通工事の3 ③ コンクリート二次製品側溝 ⇒1 共通工事の12 ④ 暗渠(ヒューム管、ボックスカルバート等) ⇒1 9治山工事の4 ⑤ 栗石基礎、均しコンクリート等 ⇒1 共通工事の9 ⑥ 種子・客土吹付等 ⇒1 2法面保護工 ⑦ 珪砂吹付工 ⇒1 共通工事の8
		I Pの距離		
		測点間の距離		
		中心線のズレ		
		基 準 高		
		法 長		
		法 勾 配		
		幅 員		
		側 溝 幅 員		
		施 工 延 長		
	2. 路 盤 工	基 準 高	施工延長200mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、施工延長200m以下は2ヵ所測定する。	
		厚 さ		
		幅		
		中心線のズレ		
		施 工 延 長		

工 種		内 容	検 査 密 度
21 地すべり工事	1. 杭 打 工	基 準 高	施工本数20本につき1本測定する。 ただし、20本以下は2本測定する。
		根 入 長	
		偏 心	
		傾 斜	
	2. 集水井工	基 準 高	1基毎に1ヵ所以上測定する。
		偏 心	
		長 さ	
	3. 集排水 ボーリング	基 準 高	10孔未満1孔、10孔以上5孔超えるごとに 1孔測定する。 ただし、集水ボーリング数と排水ボーリング数は 別々にカウントする。
		方 向	
		傾 斜 角	
		長 さ	
22 補強土壁工事	1. 補強土壁工 補強盛土工 テール工等	基 準 高	施工延長100mにつき1ヵ所以上測定する。 ただし、100m以下は2ヵ所測定する。 (植生工が伴う場合は、植被率について 施工面積500㎡につき1ヵ所以上測定する。 ただし、500㎡以下は2ヵ所測定する。)
		高 さ	
		鉛 直 度	
		延 長	1 施工ヵ所毎に測定する。

別表3 出来形検査基準

(土木工事)

工 種			内 容	検 査 密 度
土 工	土 工 (盛土、切土)		基準高、幅、法長、 法勾配	200mにつき1箇所以上（ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上）。
			天端面・法面の設計 との標高較差、また は水平較差(3次元 モデルによる場合)	1工事につき1断面(3次元モデルによる場合)
共 通 的 工 種	矢板工	矢 板	基準高、変位、 根入長、延長	100mにつき1箇所以上（ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上）。
		頭冠コンクリート	基準高、幅、高さ	
	プレキャスト ボックスカルバート		基準高、厚さ、幅、 高さ、延長	1施工につき1箇所以上。
	プレキャストU型 側溝		基準高、厚さ、幅、 高さ、延長	100mにつき1箇所以上（ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上）。
	現場打U型側溝		基準高、厚さ、幅、 高さ、延長	
基 礎 工	基 礎 材 (クラッシャーラン、栗 石、均しコンクリート)		幅、厚さ、延長	200mにつき1箇所以上（ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上）。
	基礎コンクリート		基準高、幅、高さ、 延長	
	基 礎 杭 (既成杭、場所打杭、 深礎杭)		基準高、根入長、径、 偏心量	杭5本につき1本以上。
	ケ ー ソ ン (オープン、 ニューマチック)		基準高、長さ、高さ、 幅、壁厚、偏心量	1基につき1箇所以上。
石・ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	石・ブロック積（張）工		基準高、法長、 法勾配、厚さ、控長、 延長	基準高、法長、延長は、100mにつき1箇所以上（た だし施工延長100m以下の場合は2箇所以上）。 控長、厚さは工事写真、出来形管理図で確認できない 場合は1,000㎡につき1箇所以上（ただし 1,000㎡以下の場合は2箇所以上）抜石（ブロッ ク）により検査。 なお、抜石（ブロック）箇所の選定にあたっては、か たよることなく、全体が把握できるよう適切に選定す る。

(土木工事)

工 種		内 容	検 査 密 度
一般舗装工	路 盤 (上層、下層)	基準高、幅、厚さ、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)。
		基準高、厚さあるいは標高較差(3次元モデルによる場合)	1工事につき1断面(3次元モデルによる場合)
	舗 装 (表層、基層)	基準高、幅、厚さ、横断勾配、平坦性、延長	基準高、幅及び横断勾配は、200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)。 平坦性は資料検査、厚さは施工面積10,000㎡につき1箇所以上(ただし、施工面積10,000㎡以下の場合は2箇所以上)コアーにより検査。 なお、コアー箇所の選定にあたっては、かたよることなく、全体が把握できるよう適切に選定する。
		基準高、厚さあるいは標高較差(3次元モデルによる場合)	1工事につき1断面(3次元モデルによる場合)
地盤改良工	地盤改良工	基準高、幅、厚さ、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)。
法面工(共通)	植 生 工 (種子、張芝、筋芝、市松芝、種子帯、植生ネット等)	厚さ、法長、延長	200mにつき1箇所以上(ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上)。
	吹 付 工 (モルタル、コンクリート、厚層基材)	厚さ、法長、延長	
	法 枠 工 (現場打、プレキャスト)	幅、高さ、法長、法勾配、間隔、延長	
	アンカー工	削孔長、削孔位置、削孔方向	段階確認結果の資料等により検査。
	鉄筋挿入工		
擁壁工(共通)	現場打擁壁 プレキャスト擁壁	基準高、幅、厚さ、高さ、延長、法勾配	100mにつき1箇所以上(ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上)。
	井桁ブロック	基準高、法長、法勾配、厚さ、延長	

(土木工事)

工 種		内 容	検 査 密 度
河 川	築堤護岸工	基準高、幅、厚さ、 高さ、法長、法勾配、 延長	200mにつき1箇所以上（ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上）。
	浚渫工（川）	基準高、幅、深さ、 延長	
	樋門・樋管工	基準高、幅、厚さ、 高さ、延長	樋門、樋管、水門は1基につき2箇所以上。呑口部は1箇所以上。
	水門工		
海 岸	堤防護岸工	基準高、幅、厚さ、 高さ、法長、法勾配、 延長	100mにつき1箇所以上（ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上）。 根固め、消波ブロックは、ブロック個数100個につき1個以上（ただし、ブロック個数100個以下の場合は2個以上）。
	突堤・人工岬工		
	離岸堤工		
	浚渫工（海）	基準高、幅、深さ、 延長	
砂 防 対 策 工	砂防ダム工 （本体、側壁、水叩）		1施工箇所につき1箇所以上。
	流 路 工		200mにつき1箇所以上（ただし、施工延長200m以下の場合は2箇所以上）。
	斜 面 対 策 工	盲 暗 渠	100mにつき1箇所以上（ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上）。
		Ｕ 型 側 溝	
		集排水ボーリング	段階確認結果の資料等により検査。
		集 水 井	1施工箇所につき1箇所以上。
ダ ム	コンクリートダム工		5ジョイントにつき1箇所以上。
	フィルダム工 （コア、フィルタ、ロック）		5測点につき1箇所以上。

(土木工事)

工 種		内 容	検 査 密 度
道 路	道 路 改 良 工	現場打ボックス カルバート	基準高、厚さ、幅、 高さ、延長
		落石防止網	幅、延長
		落石防護柵	高さ、延長
		防 雪 柵	高さ、延長
	橋 梁 上 ・ 下 部 工	橋 梁 下 部 (橋台、橋脚)	基準高、幅、厚さ、 高さ、径間長、変位
		橋 梁 上 部 (鋼橋、コンクリ ート橋)	部材寸法、基準高、 支間長、主桁の中心 間距離、キャンバー
	ト ン ネ ル 工	覆 工 (矢板、コンクリ ート)	基準高、幅、厚さ、 高さ、延長、間隔、 偏心量
		吹付コンクリート	厚さ
		坑 門	基準高、幅、高さ、 延長
	下 水 道	開 削 管 渠	基準高、幅、高さ、 だ行、延長、管径
		推 進 管 渠	基準高、だ行、延長、 管径
		シ ー ル ド (1・2次覆工)	基準高、厚さ、だ行、 延長、内径
		人 孔	基準高、幅、高さ、 厚さ

港 湾	岸壁、防波堤工 (ケーソン、 上部コンクリート)	基準高、幅、長さ、 高さ、壁厚	100mにつき1箇所以上（ただし、施工延長100 m以下の場合は2箇所以上）。
	浚渫工（海）	基準高、幅、深さ、 延長	
その他の構造物		工種に応じ、基準 高、 幅、厚さ、高さ、 深さ、法長、長さ等	同種構造物を準用。

- 注 （１） 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合や、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、出来形管理図表、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書、３次元モデル等により、検査することができる。
- （２） 施工延長とは施工延べ延長をいう。

別表4 品質検査基準

(農林・土木工事)

工 種	検 査 内 容	検 査 方 法
材 料	品質形状は、設計図書等と対比して適切か。	①品質証明書により検査。
二次製品類 (コンクリート、鋼材)	(1)工場検査は実施されているか。 (2)工場報告書等で品質が確認できるか。	①品質証明書により検査。
コンクリート工 (無筋コンクリート、 鉄筋コンクリート、 モルタル)	コンクリート・モルタルの強度、スランプ、塩化物総量値、アルカリ骨材反応対策等は、設計図書等と対比して適切か。	①コンクリートの受入れ時及び施工時における試験結果や品質管理記録等の資料により検査。 ②上記①の資料で合格と判定できない場合等、所定の品質を有していると判断できない時は、非破壊試験 (JSCE-G504「テストハンマーによる強度推定」) で測定。 ③非破壊試験で合格と判定できない場合は、コアを採取して試験を行う。(JIS-A1107により採取)
ガス圧接工	鉄筋を圧接する接合部は、適切か。	①試験結果の資料により検査。
基 礎 工 (鋼管杭、H鋼杭、 コンクリート杭)	(1)基礎の位置、上部との接合及び溶接部等は適切か。 (2)支持力は、設計図書と対比して適切か。	①試験結果の資料により検査。
路 盤 工	(1)路盤材料の合成粒度は、設計図書と対比して適切か。 (2)支持力又は締固め密度は、設計図書と対比して適切か。	①試験結果の資料により検査。 ②適切であると判断できる資料等がない場合は実測。
アスファルト 舗装工	アスファルト使用量、骨材粒度、密度及び舗設温度は、設計図書と対比して適切か。	①アスファルト混合物事前審査委員会が認定した合材を使用しているか、認定通知書の内容等の検査。 ②同委員会が認定していない合材を使用している場合で、配合設計等が適切であると判断できる資料等がない場合は実測。

工 種	検 査 内 容	検 査 方 法
アンカー工	品質保証試験がグラウンドアンカー設計・施工基準に基づき実施され、同基準の引張荷重に対して安全か。	①試験結果の資料により検査 適性試験の一定量を中間検査で実施していること。 ②適切であると判断できる資料等がない場合は、適性試験を実施。
鉄筋挿入工	「地山補強土工法設計・施工マニュアル」及び特別(記)仕様書に基づき実施され、地山と一体となり、容易に引抜けないよう施工されているか。	①試験結果の資料により検査 受入れ試験の一定量を中間検査で実施していること。 ②適切であると判断できる資料等がない場合は、受入れ試験を実施。
土 工	(1)土質・岩質は、設計図書等と一致しているか。 (2)支持力又は締固め密度は、設計図書と対比して適切か。	①試験結果の資料により検査。 ②適切であると判断できる資料等がない場合は実測。
捨 石 工 (石材)	岩の比重、圧縮強度等が適切か。	①試験結果の資料により検査。
溶 接 工	溶接部のビートやその周辺にわれの箇所がない等適切に溶接されているか。	①浸透探傷試験(カラーチェック)等により検査。 ②すみ肉溶接試験等は試験結果の資料により検査。
構造物の機能	構造物又は付属設備等の機能は設計図書と対比して適切か。	①実際に操作して検査。
その他の構造物	設計図書と対比して適切か。	① 試験結果の資料により検査。 ②適切であると判断できる資料がない場合は実測。

参 考 出来ばえの検査基準

(農林・土木工事)

項 目	検 査 内 容
盛 土、築 堤	・ 仕上げ面、とおり等の全体的美観。 ・ 端部の処理、構造物へのすり付け状況。
コンクリート構造物	・ コンクリートのクラック、気泡孔の状況。 ・ 構造物のとおり、天端仕上げ、端部仕上げの状況。 ・ 目地位置、打継目の処理状況、段差、ズレの有無。 ・ 全体的な外観。
舗 装 工	・ 舗装表面の平坦性、均一性、雨水処理の状況。 ・ 構造物へのすり付け、とおり、端部処理の状況。 ・ 全体的な美観。
法 面 工	・ 仕上がり面、勾配のとおり等全体的な美観。 ・ 浮石等の有無。 ・ 植生の活着、色むらの状況。 ・ 構造物との端部処理の状況。
鋼 橋 工	・ 溶接、塗装の均一性。 ・ 表面の補修箇所の有無。 ・ 傷、錆の有無。 ・ 全体的な美観。
植 栽 工	・ 樹木の活着状況。 ・ 支柱の取付け状況。 ・ 全体的な美観。
コンクリート二次製品	・ 鉄筋の露出、ひび割れ、豆板の有無。 ・ ヘヤークラック、欠け、気泡孔、表面の凸凹、反り等の状況。 ・ 目地の処理状況。 ・ 段差、ズレの有無。 ・ 全体的な美観。

別表1-2

(建築工事)

確 認 項 目						確 認 状 況			
項目	中項目	細 目	出来形	品質・性能	出来ばえ	適	指導	不適	摘 要
出来形・品質等	仮設	1.共通仮設 2.指定仮設	・監督員事務所 ・仮設計画図	・仮設設備 ・材料規格	— ・撤去状況				
	土	1.根切・埋戻し・盛土 2.山止め	・深度・土量管理表 ・構造	・根切底・転圧記録 ・工法・強度	・造成面仕上り —				
	地業	1.杭(RC・S) 2.ラップル、地盤改良	・杭打設記録 ・材料使用数量	・材料規格・強度 ・材料規格・強度	・芯ずれ状況 —				
	鉄筋	1.材料・加工組立・配筋 2.接合[重ねガス圧接]	・径別使用数量 ・個所数	・シールド・かぶり厚 ・探傷試験・引張試験	・配筋の精度 —				
	コンクリート	1.コンクリート 2.形枠	・打設数量伝票 ・寸法精度	・配合・強度 ・打込み形枠材質	・表面仕上がり ・打放し状況				
	鉄骨	1.材料・工作・溶接・接合 2.錆止め・耐火被覆・メッキ	・出荷量・主要部寸法 ・皮膜・被覆の厚み	・鋼材品質・探傷試験 ・塗料等数量管理	・加工・溶接精度 ・メッキ等の仕上り				
	ブロック等	1.コンクリートブロック 2.ALC・成形セメント板	・厚み・面積 ・面積・開口補強	・ブロック・鉄筋・規格 ・材料目地取付規格	・目地の通り ・パッキン・水切				
	防水	1.アスファルト・シート・塗膜防水 2.シーリング	・工法別施工面積 ・種別箇所・断面	・材料規格・数量管理 ・規格・ボンドブレイカー	・水勾配・膨れ ・表面仕上り				
	石	1.壁 2.床 3.面台 4.他	・工法別面積・厚み	・石材の質・張付工法	・割付・色合柄等				
	タイル	1.外壁 2.内壁 3.床	・仕様別施工面積	・材料規格・接着性能	・浮・目地納り				
	木	1.構造・軸組・床組・下地 2.造作	・材断面・継手仕口 ・断面寸法	・樹種・等級・金物規格 ・樹種・等級・加工精度	・加工精度 ・納まり				
	屋根	1.鉄板・折板・瓦葺等 2.樋	・仕様別施工箇所 ・径・個所・固定	・葺材規格・葺きむら ・材料規格・漏水対策	・棟・ケラバ納り ・位置見栄え				
	金属	1.軽鉄下地[天井・壁] 2.手すり・タラップ 3.金属成形板張り 4.別笠木	・施工箇所・部材寸法 ・取付部位・断面 ・面積・伸縮継手 ・糸幅・施工部位	・材料規格・錆止 ・表面処理・固定 ・材料規格 ・表面処理・固定	・通り ・安全性・機能性 ・平坦性 ・通り				
	左官	1.珪藻土・プラスター塗り等 2.吹付[リソリックール他]	・塗厚・施工部位 ・施工部位	・調合・混和剤 ・材料規格・使用数量	・平滑性 ・吹きむら				
	建具	1.金属建具 2.木製建具 3.ガラス・ガラスブロック	・寸法・個所・金物 ・寸法・箇所・金物 ・使用箇所別厚み	・材種・表面処理 ・樹種・表面材塗装 ・ガラス・止め材規格	・操作性 ・建付・そり ・クリニグ				
	塗装	1.各塗料塗り	・種別部位	・材料規格・使用数量	・塗り残し・むら				
	内装	1.床シート・タイル等 2.合成樹脂塗り床 3.ボード・フローリング張り 4.壁紙・クロス張り 5.畳・カーペット敷き 6.断熱材・防露	・材料別厚・使用量 ・材料使用量 ・材別厚み・使用量 ・種別施工部位 ・施工部位・厚み ・施工部位・厚み	・材料・接着剤規格 ・材料規格 ・材料規格・留め付 ・仕様 ・畳床規格・パイル長 ・材料規格・透湿抵抗	・目違い・不陸 ・表面性状 ・目違い ・接合部納り ・不陸・柄合せ ・発泡のむら				
	舗装等	1.各種舗装・砂利敷き 2.街きよ・側溝・縁石 3.フェンス・門柱*	・面積・各層の厚さ ・断面・延長 ・延長・基礎	・締固度・密度・強度 ・材料規格 ・材料規格	・平坦性・透水性 ・勾配・すりつけ ・通り				
	排水	1.配管・樹	・延長・管径・埋設深	・材料規格・勾配	・蓋のすりつけ				
	植栽	1.植樹・地被・芝・は種	・本数・客土・施肥量	・規格・根巻き・支柱	・樹形・景観				
	カーテンウォール	1.アルミカーテンウォール 2.PCカーテンウォール	・部位・寸法(ガラス・ガラスカット・シール・PC板)	・規格・性能(耐風震火・水気密・断熱・遮音)	・割付・目地通り ・映像調整・傷				
	エント	1.リフト・エレベーター 2.エレベーター・エレベーター	・面積・床高さ ・部位・断面	・耐荷重・表面材性能 ・メーカー規格・固定	・平坦性 ・エレベーターの出入り				
	その他	3.ブラインド・カーテン(レール) 4.黒板・掲示板・鏡 5.表示[サイン・触知サイン] 6.煙突・レンジ 7.エレベーター 8.家具類・体育施設*	・寸法・箇所 ・寸法・箇所・位置 ・寸法・箇所・表示 ・内径・断熱厚 ・取付部位 ・種別寸法・箇所	・規格・遮光・防災 ・製品性能 ・材質・機能 ・レンジ材質・固定 ・材質・固定 ・材質・取手・金物	・操作性 ・納り・見やすさ ・視認性・触知性 — ・納り・安全性 ・納り・操作性				
	改修	1.防水改修 2.外壁改修 3.内装・塗装改修	・既存防水層処理 ・浮・クラック計測図 ・施工範囲	・下地[リソリックール・水洗・補修] ・ヒートポンプ・注入 ・下地処理調整状況	— ・平坦性 ・平坦性				
	解体	1.内装・躯体・基礎解体 2.特別管理廃棄物等	・範囲・解体処分量 ・アスベスト・CCA木材	・工法・分別・養生 ・工法・分別・処分	・リサイクル率・処分 ・封じ込め・処分				

別表1-2

(電気設備工事)

確 認 項 目						確 認 状 況			
項目	中項目	細 目	出 来 形	品 質・性 能	出 来 ば え	適	指 導	不 適	摘 要
C 出 来 形 ・ 品 質 等	共通	1. 共通工事、地業、コンクリート、左官	・基礎等の寸法	・コンクリート規格、養生	・平滑さ、ひび割れ				
		2. 塗装工事	・施工種別	・下処理、むら	・仕上がり状況				
		3. 機械設備工事	・材料の種別、位置	・材質、寸法	・仕上がり状況				
	電力設備	1. 配線・配管	・材料の規格	・材質、寸法	・通線・配管状況				JIS、内線規定 電気用品 取締法 電気設備 技術基準
		2. ケーブル架設	・材料の規格、仕様	・接続状態	・傾り、支持間隔				
		3. 配線(建柱)	・材料の規格、仕様	・根入れ、根かせ	・傾り、支線(柱)				
		4. 配線(架線)	・材料の規格	・接続絶縁処理	・ケーブルちょう架間隔				
		5. 配線(地中)	・材料の規格	・埋設深度、 ・ケーブルルート	・埋戻し状況				
		6. 接 地	・種別、埋設標	・接地抵抗値	・接地極埋設状況				
		7. 照明器具	・規格、形式	・点灯、照度分布	・吊りボルト				JIS、JIL
		8. 盤類(分電盤・制御盤)	・種別、形式	・絶縁、シークス	・支持ボルト				JIS、JEC、JEM
		9. 12 避雷設備	・突針・接地極・導線	・接地抵抗値	・傾り、導線支持				JIS
	受変電・ 静止形電源設備	1. コービ 外式配電盤	・規格、形状	・絶縁、耐電圧	・据付状態、耐震				JIS、JEC、JEM
		2. 開放形配電盤	・規格、形状	・絶縁、耐電圧	・据付状態、耐震				//
		3. 高圧機器	・規格、種別	・操作性能、動作	・据付状態、耐震				//
		4. 直流電源装置	・規格、形状	・性能試験	・据付状態、耐震				//
		5. 交流無停電電源装置	・規格、形状	・性能試験	・据付状態、耐震				//
	自家発電設備	1. 発電機	・規格、表示銘板	・絶縁、耐電圧、 ・運転	・据付状態・耐震 ・防鼠措置				認定証票(装置) JIS、JEC、JEM
		2. 原動機	・規格、形状	・運転、騒音	・据付状態・耐震 ・防鼠措置				LES
		3. 配電盤	・規格	・性能、動作	・支持、耐震				JIS、JEC、JEM
		4. 補機附属装置等	・規格、取付状態	・性能、動作	・取付状態				
		5. 配管・配線材料	・規格、施工状況	・漏れ、振動、高温 部からの離隔	・支持、固定				
	通信・ 情報設備	1. 配線材料(電線・電線保護物・端子盤等)	・規格、形式	・絶縁抵抗 ・区画貫通処理	・傾り、支持材				JIS
		2. 構内交換装置 情報通信装置	・形式、容量、機能	・絶縁、耐電圧、動作	・据付状態、耐震				公衆電話 通信法
		3. 拡声装置 非常放送装置	・形式、定格	・特性、出力、動作	・据付状態、耐震				消防法
		4. 電気時計装置	・形式	・特性、動作	・据付状態				消防法
		5. 元々 共同受信装置	・形式	・特性	・取付状態				BL マーク
		6. 自動火災報知装置 自動閉鎖装置	・形式、容量	・作動、認定票	・取付状態				消防法

別表１－２

(機械設備工事)

確 認 項 目						確 認 状 況			
項目	中項目	細 目	出 来 形	品 質・性 能	出 来 ば え	適	指導	不適	摘要
C 出来形・品質等	共通	1. 配管工事	・材料の種別 ・管径・位置	・接続方法・防食処置 ・支持方法、間隔 ・水圧試験・空気圧試験 ・気密試験 ・各区画貫通処理	・勾配 ・支持の弛み ・埋設状態、深さ				JIS, JWWA
		2. 保温工事	・材料の種別 ・施工の種別	・材料の密度、厚さ ・施工順序 ・各区画貫通処理	・外装材の納まり ・平滑性				JIS
		3. 塗装、防錆工事	・施工部位 ・施工の種別	・材料規格 ・下処理	・塗り残し・むら				
		4. 電気工事	・材料の種別 ・位置	・材質、寸法	・通線・配管状況				
		5. 関連工事 (地業、コンクリート、左官)	・基礎の寸法	・コンクリート規格、養生	・平滑度、ひび割れ				
	空調設備	1. 熱源機器	・規格、仕様	・運転、出力 ・試験成績書	・据付状態(耐震) ・管との接続状態				安衛法、消防法
		2. 空気調和機	・構成、仕様	・運転、出力 ・試験成績書	・据付状態(耐震) ・管との接続状態				消防法
		3. 放熱器及び付属品	・構成、仕様	・作動	・取付状態				建基法
		4. 送風機及びポンプ	・構成、仕様	・運転、出力 ・試験成績書	・据付状態(耐震)				
		5. その他機器	・種別、仕様	・作動	・取付状態				
		6. ダクト及び付属品	・材料の種別、工法、板厚	・漏れ、騒音	・設置状況				
	自動制御	1. 自動制御設備	・構成、制御方式	・調整状況、作動	・取付状況				
		2. 中央監視制御装置	・構成、機能容量	・総合調整、作動	・据付状態				
	給排水衛生設備	1. 衛生器具	・外観	・通水、満水、作動	・取付状態				
		2. ポンプ	・種別、仕様	・運転、能力	・据付状態				
		3. 給湯温水機器	・種別、仕様	・能力、作動	・取付状態				
		4. 消火機器	・種別、形状	・能力、作動	・取付状態				
		5. 厨房機器	・種別、形状	・能力、作動	・据付状態(耐震)				
		6. ガス機器	・種別、形状	・能力、点火	・取付状態(耐震)				
		7. し尿浄化槽	・型式 (処理水量)	・水張り、総合運転 ・処理水分析	・据付状態				
	昇降機設備	1. 一般エレベーター 一般油圧エレベーター	・型式、仕様 (身障用附加仕様)	・制御、安全装置 (身障用附加機能)	・据付状態(耐震)				
		2. 非常用エレベーター	・型式、仕様 (非常用附加仕様)	・制御、安全装置 (非常用附加機能)	・据付状態(耐震)				

別表3 出来形検査基準

(建築工事)

工 種		検 査 内 容	検 査 方 法
1	仮設工事	指定仮設の規格寸法	指定仮設物の種類毎に一個所以上
2	土工事	掘削・埋め戻し土量	土量管理表と施工写真
3	地業工事	杭・ラップルの規格、芯ずれ 土壌改良の範囲と深度	杭工事施工管理図と施工写真 改良剤数量管理表と施工写真
4	鉄筋	径と接合定着長さ	工事写真及び配筋検査写真による
5	コンクリート工事	柱・梁等の寸法	同寸部材毎に一個所以上測定
6	鉄骨工事	形鋼の規格寸法と接合部	構造上主要な部分につき一個所以上測定
7	ブロック等工事	ブロック・パネル・成形板等の規格寸法	材料毎に一個所以上測定
8	防水工事	工法の確認、施工面積、	施工範囲の確認
9	石工事	工法毎の施工面積	材種毎に施工範囲を確認
10	タイル工事	工法毎の施工面積	材種毎に施工範囲を確認
11	木工事	材種・部位毎の寸法	部位別に一個所以上測定
12	屋根工事	工法・規格の確認	葺き材の規格測定一個所以上
13	金属工事	軽量鉄骨下地・手すり・クランプ・鋼管 等の規格寸法	種類毎に一個所以上測定
14	左官工事	工法別施工面積と厚さ	工法別施工範囲の確認
15	建具工事	種類別形状寸法・金物・ガラス	種類毎の枠見込、開口寸法の確認
16	塗装工事	施工面積	仕様毎の施工範囲の確認
17	内装工事	材料ごとの規格・施工面積	材料毎の規格確認
18	舗装工事	路盤・舗装の厚みと施工面積 側溝・縁石は規格と延長	アールは一個所所以上 施工面積・長さ・パールは出来形管理図に基づき二個 所以上測定
19	排水工事	管径・柵の規格、延長	管径毎に測定
20	植栽工事	樹種毎の規格・数量 地被は規格と施工面積	樹種毎に一本以上測定 地被は出来形管理図により二個所以上測定
21	カーテンウォール工事	規格毎の寸法・施工面積	規格毎に一個所以上測定
22	エントその他工事	規格毎の寸法・数量・施工面積	規格毎に一個所以上測定
23	防水改修	改修部分の面積	既存防水層や押え層の処理範囲の確認
24	外壁改修	改修部分の面積、補修長さ	浮・クラック計測図により確認
25	建具改修	工法別改修箇所	建具リストによる施工範囲の確認
26	内装・塗装改修	撤去補修箇所	下地の撤去、補修状況の目視確認
27	耐震改修	施工範囲と箇所	耐震壁の長さの計測確認
28	解体工事	解体材の数量	発生材調書等とマニフェストの確認

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、出来形管理図表、写真、ビデオ及び監督員の確認資料等により、検査することができる。

別表3 出来形検査基準

(電気設備工事)

工 種			検 査 内 容	検 査 方 法	
共 通	1	共通工事 地業、コンクリート、左官	基礎等の寸法	目視、工事写真	全数
	2	塗装工事	施工種別	目視、工事写真	種別毎
	3	機械設備工事	材料の種別、位置	目視、工事写真	種別毎
電 力 設 備	4	材 料 (電線・ケーブル、電線管、 ケーブルラック 等)	材料の規格、取付状態	施工計画書、目視、工事写真	種別毎
	5	外線材料 (電柱、装柱材料、 ケーブル保護材、ハンドホル)	材料の規格、据付・取付状態	施工計画書、規格証明書、 目視、工事写真	種別毎
	6	照明器具	規格、形式、取付状態	納入仕様書、標準図、 目視、工事写真	種別毎
	7	盤 類 (分電盤、制御盤)	種別、形式、据付状態	納入仕様書、標準図、目視、 工事写真	全数
	8	避雷設備	突針・接地極・導線仕様	納入仕様書、目視、工事写真	全数
受 変 電 ・ 静 止 形 電 源 設 備	9	キュービクル式配電盤	規格、形状、据付状態、耐震	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	10	開放形配電盤	規格、形状、据付状態、耐震	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	11	高圧機器	規格、種別、据付状態、防震	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	12	直流電源装置	規格、形状、据付状態、耐震	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	13	交流無停電電源装置(UPS)	規格、形状、据付状態、耐震	納入仕様書、目視、工事写真	全数
自 家 発 電 設 備	14	発電機	規格、表示銘板確認、据付状態 耐震処置(装置として)、防鼠処置	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	15	原動機	規格、形状、据付状態、防鼠処置	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	16	配電盤	規格、取付状態、耐震処置	納入仕様書、目視、工事写真	全数
	17	補機附属装置等	規格、取付状態	納入仕様書、標準図、目視、 工事写真	全数
	18	配管・配線材料	規格、施工状況	納入仕様書、目視、工事写真	全数
通 信 ・ 情 報 設 備	19	配線材料(電線・電線保護物・ 端子盤等)	規格、形式、取付状態	施工計画書、目視、標準図、 工事写真	種別毎
	20	構内交換装置 構内情報通信装置	形式、容量、機能、据付状態	納入仕様書、標準図、目視	全数
	21	拡声装置・非常放送装置	形式、定格、取付状態	納入仕様書、標準図、目視	種別毎
	22	電気時計装置	形式、取付状態	納入仕様書、標準図、目視	種別毎
	23	ルビ 共同受信装置	形式、取付状態	納入仕様書、目視	種別毎
	24	自動火災報知装置 自動閉鎖装置	形式、容量、取付状態	納入仕様書、目視	種別毎

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、出来形管理図表、写真、ビデオ及び監督員の確認資料等により、検査することができる。

別表3 出来形検査基準

(機械設備工事)

工 種			検 査 内 容	検 査 方 法
共通	1	配管工事	材料の種別、位置	施工計画書、目視、工事写真 種別毎
	2	保温工事	施工種別、仕上がり状況	施工計画書、目視、工事写真 種別毎
	3	塗装及び防錆工事	施工種別	目視、工事写真 種別毎
	4	電気工事	材料の種別、位置	施工計画書、目視、工事写真 種別毎
	5	関連工事 地業、コンクリート、左官	基礎の寸法	目視、工事写真 全数
空調設備	6	熱源機器	規格、仕様、据付(耐震)	納入仕様書、標準図、 目視、工事写真 全数
	7	空気調和機	構成、仕様、据付(耐震)	納入仕様書、標準図、 目視、工事写真 全数
	8	放熱器及び付属品	構成、仕様、取付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数
	9	送風機及びホッパ	種別、仕様、据付状態	納入仕様書、標準図、 目視、工事写真 全数
	10	その他の機器	種別、仕様、取付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数
	11	ダクト及び付属品	材料の種別、工法、設置状況	施工計画書、目視、工事写真 全数
自動制御	12	自動制御設備	構成、制御方式、取付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数
	13	中央監視制御装置	構成、機能容量、据付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数
給排水衛生設備	14	衛生器具	外観・品質(JIS)、取付状態	納入仕様書、(標準図)、目視、 工事写真 種別毎
	15	ホッパ	種別、仕様、据付状態	納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	16	給湯・温水機器	種別、仕様、取付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数
	17	消火機器	種別、形状、取付状態	納入仕様書、標準図、目視、 工事写真 全数
	18	厨房機器	種別、形状、据付(耐震)	納入仕様書、目視、工事写真 全数
	19	ガス機器	種別、形状、据付(耐震)	納入仕様書、目視、工事写真 種別毎
	20	し尿浄化槽	型式、据付状態	納入仕様書、目視、工事写真 全数

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、出来形管理図表、写真、ビデオ及び監督員の確認資料等により、検査することができる。

別表4 品質検査基準

(建築工事)

工 種		検 査 内 容	検 査 方 法
1	仮設工事	指定仮設の規格寸法 現場事務所の内容 整理清掃状況	仮設計画図 目視 施工写真、目視
2	土工事	掘削の安全性、転圧状況、切梁・土留、 排水状況、残土処理	仮設計画図 施工写真、残土処理伝票
3	地業工事	規格杭の品質、支持地盤 現場打ち杭の鉄筋、コンクリート強度 土壌改良の効果	杭の品質証明、コンクリート強度試験成績書 鉄筋の品質証明 土壌改良材の品質、使用数量管理表
4	鉄筋	材料規格・品質、圧接部強度	ルット、圧接部の超音波探傷試験成績書
5	コンクリート工事	プレミクストコンクリートの規格・強度 コンクリート表面の状況	配合設計書、強度試験成績書（場合によりシュミ ットハマーによる現地試験）、表面の状況は目視と 施工写真
6	鉄骨工事	規格・品質、溶接部強度、 ボルト接合部の状況	鋼材のルット、圧接部の超音波探傷試験成績 書、HTBの品質証明、HTBの締付けトルク
7	ブロック等工事	コンクリートブロック・ALCパネル・押出し成形セ メント版の規格・品質・取付状況	材料の品質証明書・JIS工場の出荷証明書 取付施工写真
8	防水工事	下地の乾燥状況、材料の品質・使用量、 漏水の有無	出荷証明・使用数量管理表 必要に応じて水張り試験・膜厚検査
9	石工事	材料規格、取付状況	材料・取付金物等の品質証明書、施工写真、 目視・打診
10	タイル工事	材料規格、接着状況	材料の品質証明書、接着力試験成績書（外壁 等100㎡毎）、目視・打診
11	木工事	材料の農林規格、表面形状 接合部、仕口	JASマークの確認、金物の品質証明 造作材は見えがかりを目視により検査、接合 部・仕口は施工写真
12	屋根及びとい工事	材料規格、取付状況	下地の状況、折曲げはぎ合せ等の施工写真
13	金属工事	軽量鉄骨下地の止め付け防錆 手摺・タラップの表面仕上げ及び支持、 アルミ笠木の継手部の止水	施工写真及び目視で種類毎に一個所以上
14	左官工事	下地処理、養生、塗厚・吹付け量、表面 性状、ひび割れ、浮	施工写真、材料使用管理表 目視・打診
15	建具工事	アルミ建具の表面処理、鋼製建具等の塗装、 木製建具のそり、建築金物・シャッターの作 動状況、 ガラスの品質、網入りガラスの小口防錆	各種品質証明書、動作試験、 ガラスの厚さ測定
16	塗装工事	下地処理、膜厚、むら	施工写真、材料使用数量管理表、目視
17	内装工事	材料規格、留め付け、貼り付け状況、お さまり	材料の品質証明、施工写真、目視・打診
18	舗装工事	路床転圧、路盤締固め、舗装平坦性、透 水性能、材料規格	施工写真、修正CBR、マッシュ試験（300㎡以 上）、バール測定
19	排水工事	材料の規格、排水勾配	出荷証明書、バール測定
20	植栽工事	樹木の品質、樹勢、芝張の水はけ、は種・ 地被類のむら	目視
21	カーテンウォール工事	耐風圧・地震・水密・気密・耐火・遮音・ 断熱性能、取付	性能試験成績書、施工写真
22	エントその他工事	エントの性能、作動、納まり、	規格寸法測定、目視
23	防水改修工事	撤去範囲、工法、下地処理、水洗状況	工事写真、目視
24	外壁改修工事	ヒソソグ、ウカト、注入後の状況	打診、目視
25	建具改修工事	ハツリ、切断等の状況、既設枠の処理状況	目視、工事写真
26	内装・塗装改修工事	下地の撤去補修状況、既設塗装の剥離ひ び状況	目視、工事写真
27	耐震改修工事	鉄筋後施工アジャ等の性能、鋼材の強度	試験成績表、目視、工事写真
28	解体工事	騒音・振動・塵埃・汚水等の遮断	施工写真

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により、検査することができる。

別表4 品質検査基準

(電気設備工事)

工 種			検 査 内 容	検 査 方 法	
共通	1	共通工事 地業、コンクリート、左官	コンクリート規格、養生、ひび割れ	配合計画書、目視	全数
	2	塗装工事	下地処理、塗り回数、むら	目視、工事写真	種別毎
	3	機械設備工事	材質、寸法、給排水の状態	工事写真、施工試験成績書	種別毎
電力設備	4	配 線	電線の接続・色別、電線と機器との接続、他との離隔、防火区画貫通処理、接地状態	目視、工事写真、施工試験成績書	種別毎
		配 管	端口処理、屈曲・分岐・支持状態	目視、工事写真、施工試験成績書	種別毎
		ケーブルラック布設	支持間隔、接続状態	目視、工事写真、施工図	種別毎
	5	架空配線(建柱)	根入れ、根かせ、装柱材料	目視、工事写真、施工図	全数
		架空配線(架線)	接続箇所の絶縁処理、引込口	目視、工事写真、施工図	全数
		地中配線	掘削・埋戻し、ハットホル	目視、工事写真、施工図	全数
		接 地	接地抵抗測定	接地抵抗試験成績書(実測)	全数
	6	照明器具	点灯状況、照度分布	点灯試験、照度測定表	全数
	7	盤 類 (分電盤、制御盤)	シークス試験	機材・施工試験成績書	全数
	8	避雷設備	避雷導線・接地極の布設、接地抵抗測定	目視、工事写真、施工図、接地抵抗試験成績書(実測)	全数
受変電・静止形電源設備	09	柱上式配電盤	構造、操作性能、動作、絶縁抵抗、耐電圧	機材・施工試験成績書、実測	全数
	10	開放形配電盤	構造、操作性能、動作、絶縁抵抗、耐電圧	機材・施工試験成績書、実測	全数
	11	高圧機器	構造、操作性能、動作	機材・施工試験成績書	全数
	12	直流電源装置	構造、性能試験	機材・施工試験成績書	全数
	13	交流無停電電源装置(UPS)	構造、性能試験	機材・施工試験成績書	全数
自家発電設備	14	発電機	構造、絶縁抵抗、耐電圧	機材・施工試験成績書	全数
	15	原動機	構造、性能試験、騒音測定	機材・施工試験成績書	全数
	16	配電盤	構造、性能試験、動作確認	機材・施工試験成績書	全数
	17	補機附属装置等	性能試験、動作確認	機材・施工試験成績書	全数
	18	配管・配線	漏れ、振動、断熱(排気系)高温部からの離隔(配線)	施工試験成績書、目視	全数
通信・情報設備	19	配線材料(電線・電線保護物・端子盤等)	機器端子との接続、絶縁抵抗、防火区画貫通処理、支持間隔	目視、施工試験成績書	種別毎
	20	構内交換装置 構内情報通信装置	構造、絶縁抵抗、耐電圧、動作	機材・施工試験成績書	全数
	21	拡声装置・非常放送装置	構造、出力信号、調針、精度 絶縁抵抗、耐電圧	機材・施工試験成績書	全数
	22	電気時計装置	構造、特性、出力、温度上昇 絶縁抵抗、耐電圧	目視、施工試験成績書	種別毎
	23	テレビ共同受信装置	構造、特性	目視、施工試験成績書	種別毎
	24	自動火災報知装置 自動閉鎖装置	構造、作動、(消防認定票)	目視、施工試験成績書	種別毎

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により、検査することができる。

別表4 品質検査基準

(機械設備工事)

工 種			検 査 内 容	検 査 方 法	
共通	1	配管工事	勾配、支持状態、埋設状態 水圧、満水、気密 防火区画、防水層等の貫通部の処置	目視、工事写真、施工試験成績書	種別毎
	2	保温工事	施工種別、施工順序・密度 防火区画の貫通部の処置	目視、工事写真	種別毎
	3	塗装及び防錆工事	下地処理、膜厚、むら	目視、工事写真	種別毎
	4	電気工事	材質、寸法、通線・配線の状態	接地・絶縁抵抗試験	種別毎
	5	関連工事 地業、コンクリート、左官	コンクリート規格、養生、ひび割れ	配合計画書、目視	全数
空調設備	6	熱源機器	品質、性能、運転	機材・施工試験成績書、目視	全数
	7	空気調和機	品質、能力、運転	機材・施工試験成績書、目視	全数
	8	放熱器及び付属品	品質、能力	機材試験成績書	全数
	9	送風機及びホース	品質、能力、運転	機材試験成績書	全数
	10	その他の機器	品質、性能	品質保証書	種別毎
	11	ダクト及び付属品	気密、品質、支持状態 防火区画の貫通部の処置	風量測定、標準図、目視、 工事写真	種別毎
自動制御	12	自動制御設備	盤の構造、調整状態、作動	品質保証書、実測	種別毎
	13	中央監視制御装置	基本機能、総合調整、作動	品質保証書、機材・施工試験成績書 実測	全数
給排水衛生設備	14	衛生器具	品質、通水、満水、作動	目視、実測、	種別毎
	15	ホース	材質、能力、運転	機材試験成績書、実測	全数
	16	給湯・温水機器	能力、作動、	機材試験成績書、実測	全数
	17	消火機器	消防認定確認、品質、性能	消防認定票、品質保証書	全数
	18	厨房機器	材質、能力、作動	各機関合格証票、目視、実測	全数
	19	ガス機器	品質、能力、作動(点火)	機材試験成績書、目視、実測	種別毎
	20	し尿浄化槽	品質、性能、水張り、総合運転 (処理水の水質分析)	品質保証書、目視、実測、	全数

注 検査は実地において行うことを原則とするが、特別の事由により実地において検査できない場合、当該工事の主体とならない工種及び不可視部分については、種別毎に、写真、ビデオ、監督員の確認資料及び品質証明書等により、検査することができる。

出来ばえの検査基準

(建築・設備工事)

工 種	検 査 内 容
建 築 工 事	・ 建物の通り、形状は良いか ・ 仕上げの均一性、平坦性は良いか ・ 各部の取り合い、納まりは良いか ・ 割付、柄合わせ、接合は良いか ・ 使い易さへの配慮は適切か ・ 取付け、作動、操作性は良いか ・ 関連工事との取り合いは良いか ・ きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか ・ 清掃、クリーニングは良いか
電気設備工事	・ 使い易さ、安全性、環境、維持管理等への配慮は適切か ・ 仕上りは良いか ・ 納まりは良いか ・ 配管、配線が整然としているか ・ 配線器具、機器、盤類等の配置のバランスは良いか ・ 関連工事との取り合いは良いか ・ きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか ・ 清掃、クリーニングは良いか
機械設備工事	・ 使い易さ、安全性、環境、維持管理等への配慮は適切か ・ 仕上りは良いか ・ 機器、配管等の納まりは良いか ・ 各機器の支持据付のバランスは良いか ・ 操作性は良いか ・ 関連工事との取り合いは良いか ・ きめ細かな施工がなされており、全体的な美観は良いか ・ 清掃、クリーニングは良いか